

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
茶 釜 金 の 山 吹 (小色紙1枚) ——自在鉤にかけし狸の茶釜から 小判湧く	會		X・2-(697)
小 金 の 節 分 (小色紙1枚) ——袴の大黒、小判を撒いて赤・青 鬼倒る	国 美 ✠		〃 2-(698)
二 福 神 図 (小色紙1枚) ——糸びす大黒、財宝をのせた三宝 をもつ	国 美 ✠		〃 2-(699)
七 福 神 新 宝 運 送 (九ッ切1枚) ——車で運ぶ千両箱の上に“太政官 会計局”発行の“千両札” 作者は国美か? 次号X2-(701)と色調同じ	⊙		〃 2-(700)
福 神 日 出 鯛 (小1枚) ——糸びす鯛を釣る	国 美		〃 2-(701)
糸 び す 大 たい (小1枚) ——馬上の糸びす大鯛を担ぐ、路上 に小判、X2-(709)に同じ	国 美		〃 2-(702)
福 神 初 日 出 (小1枚) ——船上に万歳体の糸びす大黒	国 美		〃 2-(703)
福 神 三 国 一 (小1枚) ——大黒と唐子2人、X2-(705)参照	国 義		〃 2-(704)
福 神 金 成 木 (小1枚) ——作者は、X2-(704)により国義と 推定可能か	⊖		〃 2-(705)
ふくじん子どもあそび 布袋こどもあそび —— (小判の上下に2枚合刷) 上図、幌つきの人力に子供を 乗せて大黒が引く、下図の子供 は洋服姿、X2-(707)と揃物か	国 美		〃 2-(706)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
福神子供遊 (小判の上下に2枚合刷)	国美 (下図のみ)		X・2-(707)
ゑびす大鯛 (細1枚) ——ゑびす大鯛を担ぐ	国 美		〃 2-(708)
ゑびす大たい (細1枚) ——X2-(702)と同一	国 美		〃 2-(709)
福 神 図 (細1枚) ——表題「福神□□」、下半不鮮明 にて判読不能、ゑびす、大黒と 福祿寿 (頭上に唐子)			〃 2-(710)
福 神 大 鯛 (細1枚)	国 義		〃 2-(711)
福神春こまのいさみ (細1枚)	国 美		〃 2-(712)
福 神 豊 年 (小判1枚)	国 義		〃 2-(713)
金 の な る 木 (細1枚) ——ゑびす大黒	守 義 金		〃 2-(714)
大 黒 天 図 (細1枚) ——千両箱の上に大黒、大瓢箪を 抱く	守 義 ㊦		〃 2-(715)
丑 年 二 福 神 図 (細1枚) ——“丑のとし大小”とあれど大小 月不明、ゑびす大黒と福助	守 義		〃 2-(716)
福 神 か い こ (細1枚) ——ゑびす大黒、養蚕図、桑葉の 代りに小判	守 義 金		〃 2-(717)
福 神 花 の 会 (細1枚) ——大黒生花図、枝に小判	守 義		〃 2-(718)左
福 神 黄 金 盛 (細1枚) ——樹に成る小判をゑびす大黒が 集む	守 義 金		〃 2-(718)右

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
家内繁昌妙薬 (小1枚) ——妙薬処法とゑびす大黒	守 義 壺		X・ 2-(724)
福神金魚うり (細1枚) ——ゑびす大黒の金魚うり	守 義		〃 2-(725)
福神子供遊 (小1枚) ——大黒と唐子4人 X2-(730)の例 と並べ(⊕)は板元でなく刊年な ど他の記号と考えられる	守 義 雀棲堂		〃 2-(726)
七福銭子供遊 (小1枚) ——銭の図形の中に七福神を描く	守 義 雀棲堂 板		〃 2-(727)
福神宝之升 (小1枚) ——杓の中にゑびす大黒をおいて、 子供がこれを担ぐ	守 義 雀棲堂		〃 2-(728)
福神廿四孝之内 筍堀 ——ゑびす大黒筍を掘る、枝・地中 に小判	守 義 雀棲堂		〃 2-(729)
豊年福神稲苜 (小1枚)	守 義 雀棲堂		〃 2-(730)
福神蚕の糸取 (小1枚) ——糸取女の傍に帳付の大黒	守 義 雀棲堂		〃 2-(731)
福神舞遊 (小1枚) ——ゑびす大黒	守 義 鶴棲堂		〃 2-(732)
福神耕作豊年 (小1枚) ——ゑびす大黒と弁才天	守 義 鶴棲堂		〃 2-(733)
福神大船 (小1枚) ——ゑびす大黒と宝船	守 義 鶴棲堂		〃 2-(734)
福神川遊 (小1枚) ——ゑびす大黒川漁図	守 義 雀棲堂		〃 2-(735)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
二 福 神 図 — 糸びす大黒、小判、小粒、五両札、十両札	房 種 兌 辻文 板	[慶應元年 10月]	X・2-(736)
二 福 神 図 — X2-(736)に同じ	房 種 兌 辻文 板	[慶應元年 10月]	〃 2-(737)
二 福 神 図 — 糸びす大黒、小判、紙幣	房 種 兌 辻文 板	[慶應元年 10月]	〃 2-(738)
二 福 神 図 — X2-(738)に同じ	房 種 兌 辻文 板	[慶應元年 10月]	〃 2-(739)
二 福 神 図 — 糸びす大黒の万才	房 種 兌 辻文 板	[慶應元年 10月]	〃 2-(740)
二 福 神 図 — X2-(740)に同じ	房 種 兌 辻文 板	[慶應元年 10月]	〃 2-(741)
二 福 神 図 — 糸びす大黒	房 種 兌 辻文 板	[慶應元年 10月]	〃 2-(742)
二 福 神 図 — 糸びす大黒	房 種 兌 辻文 板	[慶應元年 10月]	〃 2-(743)
福 人 家 の 繁 栄 — 糸びす大黒	桜齋房種 兌 辻文 板		〃 2-(744)
福 人 家 の 繁 栄 — 表題はX2-(744)と同じでも別 図柄	房 種 兌 辻文 板		〃 2-(745)
福 神 図 — 女神と老人、老人が書状を出し 女神はこれに小判を渡す	房 種 馬喰四、木屋板 佐七(刻)		〃 2-(746)
二 福 神 図 — 糸びす大黒	房 種 馬喰四、木屋板 彫子兼	[元治元年 5月]	〃 2-(747)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
二 福 神 図 — 糸びす大黒、大黒衝立に虎の図を描く、X2-(750)と同柄、但し衝立の図は鶏	房 種 馬喰四、木屋板 彫 兼	[慶應元年 8月]	X・2-(748)
三 福 神 図 — 大黒、布袋、福祿寿の3神、板元名下部切落	房 種 馬喰四、木屋板	[安政 2年 正月]	// 2-(749)
二 福 神 図 — 糸びす大黒、大黒衝立に鶏図を描く、X2-(748)参照	房 種 馬喰四、木屋板 彫 兼	[慶應元年 8月]	// 2-(750)
二 福 神 図 新橋鉄道 — 糸びす大黒、背景に新橋駅と列車	房 種 馬喰四、木屋板	[明治 7年 11月]	// 2-(751)
福 人 遊 — 糸びす大黒に鼠の雀踊 御届印記手ずれにて一部分不明	房 種 画工 村 井 出板人 辻岡文助	[明治18年 10月届]	// 2-(752)
福 人 遊 — 大黒・糸びす、お供餅飾り	桜齋房種 画工 邨井静馬 出版人 辻岡文助	[明治18年 10月届]	// 2-(753)
二 福 神 図 — 糸びす大黒正月飾り付	房 種 繪 馬式森治	[安政 2年 12月]	// 2-(754)
二 福 神 一 朱 銀 図 — 中央に大きく一朱銀、糸びす大黒はその模様に描かれる	房 種 繪 馬式森治		// 2-(755)
宝 船 図 (横小判1枚) — 七福神の宝船図にながき夜の回文	房種 画 繪 馬式森治	[安政 3年 9月]	// 2-(756)
福 神 あ そ び — 糸びす大黒	桜齋房種 辻亀 板	[万延元年 12月]	// 2-(757)
二 福 神 図 (無着色墨摺) — 糸びす大黒	房 種 馬喰木屋板	[元治元年 5月]	// 2-(758)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
二 福 神 図 ——糸びす大黒、X2-(747)と同図	房種 画 馬喰 木屋板 彫子兼	[元治元年 5月]	X・2-(759)
二 福 神 金 の なる 木 ——千両箱上に糸びす大黒、前には 金のなる木	一 猛齋 芳虎 江 泉市		〃 2-(760)
豊 年 御 代 瀧 ——糸びす大黒、一面に小判と小角 降る	一 猛齋 芳虎 江 泉市		〃 2-(761)
繁 栄 金 に 成 花 ——糸びす大黒の花咲爺見立	一 猛齋 芳虎 江 泉市		〃 2-(762)
二 福 神 図 ——糸びす大黒、福寿草、梅などの 盆栽	一 猛齋 芳虎 山 基 板		〃 2-(763)
豊 年 春 の 寿 ——糸びす大黒の万才姿	一 猛齋 芳虎		〃 2-(764)
福 神 豊 の 稻 刈 ——糸びす大黒の稻刈	芳 虎 ㊦	[明治 5年 8月]	〃 2-(765)
福 神 図 ——糸びす大黒と弁天女の舞	一 猛齋 芳虎		〃 2-(766)
七 福 神 鶏 合	芳 虎 馬喰四 木屋板	[明治 5年 7月]	〃 2-(767)
福 神 宝 年 踊 り ——七福神	芳 虎 馬喰四 木屋板		〃 2-(768)
七 福 神 遊 (無着色墨摺、4図) ——X2-(773)まで揃物、大錦判1枚 に四図を合刷、七福神宝のも て遊、七福神和合の図、七福 神遊 (布袋)、七福神小金出 来秋、各図は糸びす大黒を主 にした2神で揃物の中に七福神が 描かれる	芳 虎		〃 2-(769)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
七 福 神 遊 (墨摺、4図) ——X2-(769)~X2-(772)揃物 七福神高砂まなび、七福神和合 遊 (寿老人)、七福神和合春、 七福神小づちの宝	芳 虎		X・2-(770)
七 福 神 遊 (墨摺、4図) ——七福神宝末広、七福神豊年をど り、七福神あそび (毘沙門)、 七福神遊さか盛、第1図に着色 したもの、X2-(776)にあり	芳 虎		〃 2-(771)
七 福 神 遊 (墨摺、4図) ——七福神宝の蔵入、七福神遊の まなび、七福神遊美口のたわむ れ、七福神宝の山入 (弁天)	芳 虎		〃 2-(772)
七 福 神 遊 (墨摺、4図) ——七福神つり遊、七福神小金の 多和羅、七福神小金雪ふり、七 福神筆初 (福祿寿)、 第1図の着色ものX2-(775)にあり、同板元 全	芳 虎		〃 2-(773)
福 神 遊 の 図 (小判1枚) ——大黒と福祿寿	一猛齋芳虎		〃 2-(774)
七福神遊の内 七福神つり遊 (小判半載) ——X2-(773)に白描あり	芳 虎 全		〃 2-(775)
七福神遊の内 七福神遊宝末広 —— (小判半載) X2-(771)に白描あり	芳 虎		〃 2-(776)
恵 比 寿	一勇齋国芳 圓 芝神 有田屋		〃 2-(777)
福 神 と 吉 祥 盆 栽 弁 才 天 ——弁天と鉢植4種 (梅には“繁昌 の商梅”の銘をつけ、梅の字を 囲いて枝ぶりを描く) X2-(779)と揃物	一勇齋国芳 圓 芝神 有田屋		〃 2-(778)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
福神と吉祥盆栽 福祿寿 ——鉢植3種	一勇齋国芳 圓 芝神 有田屋		X・2-(779)
福神と吉祥盆栽 福祿寿 ——X2-(779)に同じ	一勇齋国芳 圓 芝神 有田屋		// 2-(780)
福 神 帳 合 図 ——帳場格子の内に毘沙門、前で 布袋と恵比寿が算盤を入れる (続絵の一部か)	一勇齋国芳 若狭屋		// 2-(781)
二 福 神 図 (横1枚) ——糸びす大黒	一勇齋国芳 ト		// 2-(782)
福 神 図 (間判横1枚) ——糸びす大黒と弁才天と酒盛 地色は無地	一勇齋国芳		// 2-(783)
福神遊 大黒恵比須 (小1枚)	一勇齋国芳 尖 池中 上金		// 2-(784)
福神たいあみ (小1枚) ——糸びす大黒と唐子			// 2-(785)
<small>たから しめ</small> 宝 ぐくくり之図 ——蔵前の糸びす大黒	五雲亭貞秀 ト 山 口		// 2-(786)
恵比寿講之図 ——七福神	五雲亭貞秀 ト 山 口		// 2-(787)
宝のくら入 ——3戸前の商家が糸びす大黒を 招じ入	五雲亭貞秀 ト 山 口		// 2-(788)
二 福 神 宝 船 図 ——糸びす大黒、宝船の帆に天保 通宝の図	五雲亭貞秀 ト		// 2-(789)
堪 忍 袋 ——大黒と布袋	五雲亭貞秀 ト		// 2-(791)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
二 福 神 図 一一 糸びす大黒揮豪図	梅堂国政 兌 辻文 板	[明治 5年 8月]	X・ 2-(793)
二 福 神 大 神 楽 図 一一 大黒は籠毬、糸びすは袋をもち 背後に獅子舞の頭	梅堂国政 兌 辻文 板	[明治 5年 8月]	〃 2-(794)
二 福 神 人 力 車 図 一一 糸びすを人力車にのせて走る 大黒	梅堂国政 兌 辻文 板	[明治 5年 8月]	〃 2-(795)
浮 世 福 人 戯 一一 弁天と糸びす大黒	梅堂国政 著作印刷兼発行者 小林 新吉	明治21年 9 月20日印刷 全月 出版	〃 2-(796)
しんばんたからづくし 一一 玩具絵	国政 画 松栄 板 画工 竹内 栄久 板元 松井 栄吉	明治15年 11月17日届	〃 2-(797)
福 神 初 夢 の 図 一一 糸びす大黒、富士山を遠景に 鉢植えの茄子、大黒の手には 小判を羽に見立てた鷹 “山程つもる金の鷹”	一 惠斎芳幾 繪 馬式森治		〃 2-(800)
福 神 書 初 之 図 一一 糸びす大黒	芳 幾	[文久元年 11月]	〃 2-(801)
福 神 黄 金 之 蔵 入 一一 糸びす大黒	一 惠斎芳幾 兌 辻文 板	[明治 2年 10月]	〃 2-(802)
福 神 宝 の 出 来 穂 [明治2年6月] 福 神 黄 金 豆 蒨 [明治2年7月] 一一 (横1枚、2図)	一 惠斎芳幾 辻 文		〃 2-(803)
福 神 小 図 (横1枚) 一一 横1枚をタテ5分割にて各々 を掛軸状にして大黒天、天神、 清正、牛天神を描く	一 惠斎芳幾 今		〃 2-(804)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
福 神 歳 旦 図 (小1枚) ——“寅初春吉例御年玉”として 虎によりかかる弁天、逃げ出す 福祿寿	一惠齋芳幾		X・2-(805)
二 福 神 図 (小1枚) ——糸びす大黒、X2-(810)まで揃物	芳 晴 ト 山 口		〃 2-(806)
二 福 神 図 (小1枚) ——糸びす大黒、	一梅齋芳晴 ト 山 口		〃 2-(807)
二 福 神 図 (小1枚) ——糸びす大黒、	芳 晴 ト 山 口		〃 2-(808)
二 福 神 図 (小1枚) ——糸びす大黒、	一梅齋芳晴 ト 山 口		〃 2-(809)
二 福 神 図 (小1枚) ——糸びす大黒、	一梅齋芳晴 ト 山 口		〃 2-(810)
二 福 神 と 福 助 図 ——積み上げた千両箱の上に長者、 前には糸びす大黒と福助	一宝齋国盛 辻 安		〃 2-(811)
二 福 神 と 福 助 図 ——X2-(811)に同じ (色調良好、但 し虫穴あり)	一宝齋国盛 辻 安		〃 2-(812)
福 神 守 護 上 棟 之 図 ——糸びす大黒	一宝齋国盛 辻 安		〃 2-(813)
金 の わ く 井 戸 ——糸びす大黒、井戸より小判を 汲み上げる	一龍齋国盛 辻 安	[安政 3年 10月]	〃 2-(814)
福 神 遊 ——糸びす大黒高砂見立	国 盛 辻 安		〃 2-(815)
二 福 神 図 ——糸びす大黒、富士山の掛軸 をもつ	豊 国 ト		〃 2-(816)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
二 福 神 図 —— 糸びす大黒	豊 国 ト		X・2-(817)
大 黒 六 諭	豊 国 上 金		〃 2-(818)
丙 午 大 黒 図 —— “丙午の俗説を弁ず” (松亭金水誌)	一陽齋豊国 三 清	(弘化 3年)	〃 2-(819)
福 神 図 —— 糸びす大黒とお福、床の間の軸 は“蚕馬明菩薩”織機、反物、 糸を描く	豊 国		〃 2-(820)
二 福 神 図 —— 糸びす大黒、千両箱に小判包を 詰め込む	貞 虎 ① 江崎屋		〃 2-(822)
大 黒 天 宝 蔵 入 図 —— 大黒が千両箱を蔵へ運び入れる	貞 虎 ① 江崎屋		〃 2-(823)
豊 年 出 来 秋 之 図	五風亭貞虎 泉 市		〃 2-(824)
二 福 神 図 —— 大黒は風神様、糸びす土中より 金を掘出す、歌に“いのとし の春”とあって猪図	国 安 龠	(文化12年 又は 文政10年)	〃 2-(825)
四 福 神 図 —— 大黒、弁天、福祿、糸びす	国 安 ト		〃 2-(826)
大 黒 天 図 —— 小判を掃く大黒、富突の見徳?	国 安 ト 山口 板		〃 2-(827)
新 板 大 黒 図	国 安 龠		〃 2-(828)
二 福 神 年 中 行 事 —— X2-(830)参照、糸びす大黒、 コマ絵は三月(汐干狩)	一 聲齋芳鶴 二 ① 通 丸鉄		〃 2-(829)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
二 福 神 年 中 行 事 ——コマ絵は七月 (七夕)	一聲齋芳鶴 ① 通三 遠彦		X・ 2-(830)
福 人 初 子 之 遊 嘉 永 酉 の 春 ——ゑびす大黒と弁天	一聲齋芳鶴 茶	(嘉永 2年)	// 2-(831)
福 神 た か ら 遊 (小1枚) ——ゑびす、弁天	芳 鶴 ② 藤慶 板		// 2-(832)
福 神 初 日 の 出 ——ゑびす大黒、酌婦と前髪者	長 秀 墨小 板		// 2-(833)
福 神 金 は か り ——大黒と女、子供、小判を竿秤 にかける	長 秀 ③		// 2-(834)
か ね 見 (細判1枚) ——一枝に成る小判を肩車で採る子供 と娘	長 秀 ④ 天満ふ源 板		// 2-(835)
福 神 金 の 取 入 (細判1枚) ——男女の刈入の傍にゑびす	長 秀 茶		// 2-(836)
二 福 神 帳 合 図 ——ゑびす大黒	英 山 金 総州屋		// 2-(837)
二 福 神 図	菊川英山 金 総州屋		// 2-(838)
大 黒 と お 福 ——天井より大黒が小槌をふって 小判をお福の膝上に降らす お福の顔に虫損	菊川英山 ⑤ 江崎屋		// 2-(839)
開 運 福 寿 歳 徳 神 ——表題は床間掛軸の文字、ゑびす 大黒とお福が年賀の宴、床間の 三宝にはワラの蛇、歌にも巳を よみこんであり、翌四年巳年用	一寿齋芳員 ⑥	[安政 3年 11月]	// 2-(840)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
開運 福寿 歳徳神 ——X2-(840)に同じ、但し色違い	一寿齋芳員 	[安政 3年 11月]	X・2-(841)
二 福 神 図 (小1枚) ——ゑびす大黒の万才体	芳 員 灸		〃 2-(842)
二 福 神 と お 福 ——ゑびす大黒とお福 (お福の茶店 に二神休憩)	伸齋英松 金 総與		〃 2-(843)
二 福 神 図 ——ゑびす琵琶を弾き、大黒踊る	伸齋英松 金 総與		〃 2-(844)
馬 上 大 黒 図	伸齋英松 金 総與		〃 2-(845)
美 女 と 大 黒 ——お供餅をもって立つ婦人と座っ て小槌をふる大黒	哥 磨  		〃 2-(846)
美女と大黒  宝十九号 (中判1枚) ——X2-(846)と同図、但し判型小判 板元印もなし	哥 磨		〃 2-(847)
七 福 神 宝 船	哥 磨 卜		〃 2-(848)
福 神 祭 日 之 祝 ——ゑびす大黒と日の丸旗	国 利 板元 井上茂兵エ	明治12年 10月届	〃 2-(849)
福 神 祭 日 之 祝 ——X2-(849)と同じ、色調やや違う	国 利 板元 井上茂兵エ	明治12年 10月届	〃 2-(850)
福 神 宝 の 酒 盛 ——ゑびす大黒	国 利 長谷川甚吉		〃 2-(851)
年 吉 寿 福 神 遊 び (2枚続) ——ゑびす大黒	美 丸		〃 2-(852)
福 寿 円 満 ——毘沙門と寿老人	美 丸 灸		〃 2-(854)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
貼交七福神図	芳 藤 	[文久 2年 11月]	X- 2-(856)
鶴 と 大 黒 (豎小判1枚)	広 重 		〃 2-(857)
七 福 神 宝 船 図 (横1枚)	広 重		〃 2-(858)
七 福 神 宝 船 図 (横1枚) ——X2-(858)と同図、但し色違い	広 重		〃 2-(859)
二 福 神 見 立 浦 島 ——大黒の抱える千両箱を玉手箱 に見立	高崎周溪 画 江戸安峯 補 		〃 2-(861)
福 神 古 金 の 春 駒 (豎小判1枚) ——春駒とゑびす大黒	国 周 金 山田屋 板		〃 2-(863)
福 神 鶏 合 図 ——ゑびす大黒	国 周 金 馬式森治	[安政 6年 7月]	〃 2-(864)
大 黒 宝 蔵 入 図 ——牛の背に財宝をのせて運ぶ大黒	重 政 金		〃 2-(865)
福 神 牛 車 蔵 入 図 ——ゑびす大黒	重 政 金		〃 2-(866)
金 性 の 人 有 卦 入 図 ——大黒、福祿寿、福助	立川斎国郷 羽 両国大平 板	[安政元年 11月]	〃 2-(867)
金 性 の 人 有 卦 入 図 ——福祿寿と福助	立川斎国郷 金 若与 板	[安政元年 12月]	〃 2-(868)
初 春 福 神 年 礼 之 図 ——ゑびす大黒の年礼姿	一幽斎重宣 辻 安	[嘉永 5年 11年]	〃 2-(869)
二 福 神 図 (豎小判1枚) ——ゑびす大黒、算用中	重 宣 金 藤 慶		〃 2-(870)
新 板 福 神 つくし ——16区割、ゑびす大黒の諸体	重 宣 山 甚 板		〃 2-(871)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
二福神上棟財投図 ——あびす大黒、3扇を付けた祝物 と丸太の手すりから上棟式の銭 投の景と推定	貞 房 ▲		X- 2-(872)
福神大判鍛錬図 ——大黒と弁天にて大判をうつ	貞 房 ▲		〃 2-(873)
福神歳旦図(複製) ——山中にて布袋と童子3人、岩木 に小判みのる	貞 重 ⊕ ㊦		〃 2-(875)
福神歳旦図(複製) ——X2-(875)に同じ	貞 重 ⊕ ㊦		〃 2-(876)
福神たかの図 ——富士山と鷹を据えた大黒、あび すは翌年の干支羊を引く	一梅齋周重 馬喰四 木屋板	[明治3年 11月]	〃 2-(877)
せい かい の ことぶき 盛 家 祝 之 寿 ——米俵と千両箱の前に老夫妻、俵 の上にあびす大黒の像	守川周重 画工 守川音治郎 版元 辻岡 文助	明治12年 10月21日届	〃 2-(878)
福神帳合 ——あびす大黒と弁天	周 延 画工兼出板人 綱島 亀吉	明治14年 10月届	〃 2-(879)
七福神集会	周 延 画工兼出板人 綱島 亀吉	明治14年 10月届	〃 2-(880)
鯨 と 大 黒 ——河豚と大黒、戌子は文政11年	春川英笑	戌子春新板	〃 2-(883)
ことぶき ふく あそび 寿 福 遊 (細判1枚) ——あびすが式三番の人形を遣う	長 秀 天満麩源 板		〃 2-(884)
福神金の宮(細判1枚) ——大黒を祀るお宮より小判流れ 出る	長 秀		〃 2-(885)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
大 黒 天 図 ——大黒煙管の火に鼠の火消が対す 火の粉は小判	英 笑		X・2-(886)
出 世 大 黒 天 ——“辰の年新板”大黒の前の男女	哥川安秀 版元 森屋		〃 2-(887)
二 福 神 図 ——ゑびす大黒	玄 魚 金 上 翁 屋 彫工 庄治		〃 2-(888)
福 神 万 歳 図 ——ゑびす大黒	英蝶斎国福 馬喰四 木屋板		〃 2-(889)
小 金 の 花 宝 の 蔵 入 ——ゑびす大黒、極印の左半分切断 して欠	国 綱 本 両国大平 板		〃 2-(890)
七 福 神 蔵 入 図 ——蔵内に七福神	国 兼 板元 森屋治兵衛		〃 2-(891)
新 板 二 福 神 図 ——ゑびす大黒と黄金作りの鶏、 酉年の福絵か	一 泉 斎 国 輝		〃 2-(892)
二 福 神 力 持 図 ——ゑびす大黒、片手に6千両を 差上げる大黒	国 房 ㊦		〃 2-(893)
七 福 神 船 遊	国 一 小 泉 版		〃 2-(894)
福 神 福 引 図 ——ゑびす大黒	一 鶯 斎 金		〃 2-(895)
万 作 富 貴 に なる 傳 ——ゑびす大黒、右側下破損	金 森 治 版		〃 2-(897)
教 訓 二 福 神 図 ——ゑびす大黒、 “苦は楽の種、楽は苦の種……”	㊦ 江崎屋		〃 2-(898)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
二 福 神 図 一一 糸びす大黒と天保当百の表裏図	版元 森屋治兵衛 齋	天保 7年春	X・ 2-(899)
福 神 金 撒 図 一一 記事中にぢしんで家蔵崩れ 云々……、大黒と福助が小判な などをまき、土方、地藏、糸んま の子らが拾う			〃 2-(900)
二 福 神 初 夢 図 一一 糸びすの夢見に富士と鷹、帆船 の紋が三ツ茄子、馬上の大黒が 富士を仰ぎみる			〃 2-(901)
恵 比 須 と 福 助 (細判1枚) 一一 糸びすと福助			〃 2-(902)
二 福 神 図 (細判1枚) 一一 糸びす大黒と童子3人			〃 2-(903)
福 神 金 し ら べ (細判1枚) 一一 糸びす大黒	齋		〃 2-(905)
七 福 琴 基 書 画 (細判1枚) 一一 “申のとし大小” (不明)	守 美 齋		〃 2-(906)
こ と ぶ き (細判1枚) 一一 糸びす大黒とお福	齋		〃 2-(907)
大 黒 歳 旦 図 (細判1枚) 一一 大黒、 “亥とし”	齋		〃 2-(908)
福 神 い ね か り (細判1枚) 一一 糸びす大黒	齋		〃 2-(909)
福 人 酒 盛 (細判1枚) 一一 糸びす大黒	齋		〃 2-(910)
福 神 心 の 清 書 (細判1枚) 一一 糸びす大黒			〃 2-(912)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
福 神 糸 取 (豎小判1枚) ——大黒と婦人	守 義 奎		X- 2-(919)
大 黒 稲 取 (豎小判1枚) ——色にじみ			〃 2-(920)
福 神 き け ん し や う (小横1枚) [見 城] ——大黒	㊦		〃 2-(921)
大 黒 図 (小1枚) ——大黒熊手で小判を掃く			〃 2-(923)
金 の な る 木 (小1枚) ——糸びす三味をひく X2-(936)も同図			〃 2-(924)
福 神 餅 搗 (小1枚) ——糸びす大黒			〃 2-(925)
福 神 商 売 繁 昌 (細小1枚) ——糸びす大黒			〃 2-(926)
糸 び す の 大 鯛 を 釣 (細小1枚)			〃 2-(927)
福 神 駒 い さ み (細小1枚) ——馬上の大黒			〃 2-(928)
福 神 富 士 の ま き か り (細小1枚) ——大黒と鹿に乗る仙人(?)			〃 2-(929)
福 神 金 澤 山 (細小1枚) ——大黒と娘、小旗に「金壱万円」 とあり	かじ庄 梓		〃 2-(930)
福 神 金 成 木 (小色紙1枚) ——大黒と弁天			〃 2-(931)
福 神 花 車 (細小1枚) ——糸びす大黒			〃 2-(932)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
福 神 二 見 ヶ 浦 (細小1枚) ——ゑびす大黒が四手駕に弁天を のせる			X・ 2-(933)
福 神 大 鯛 (横小1枚) ——鯛にまたがるゑびすと船上の 大黒			” 2-(934)
金 の なる 木 (小1枚) ——X2-(924)に同じ			” 2-(936)
大 黒 図 (小1枚) ——大黒と小童	本吉 板		” 2-(937)
二 福 神 図 (小横1枚) ——ゑびす大黒と鶴亀、赤色は明治	和歌山帳毛 製		” 2-(938)
福 神 大 小 暦 (小横1枚) ——ゑびす大黒、木材へ墨引にて 寸法を大小暦とす、大正3.4.6. 8.9.11、歌には“亥子の明地” とあれど、大小月は文久2年 戌年	篤 齋		” 2-(939)
二 福 神 図 (小横1枚) ——ゑびす大黒	ワカ山帳毛 摺		” 2-(940)
大 黒 宝 車 引 (小横1枚) ——鼠に財宝をのせた車を曳かせる			” 2-(941)
二 福 神 と 福 助 (小横1枚) ——日の丸の間より福助が見得、 ゑびす大黒は左右の雲上にあり	貞 信		” 2-(943)
金 の 取 鉢 (細1枚) ——ゑびすと童子がもつ大布袋へ 大黒が小判を椀で計り入れ図	本吉 板		” 2-(944)
福 神 小 判 施 行 (細1枚) ——未年閏七小、大黒	齋		” 2-(945)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
福 遊 いわ井のつぼ (細1枚) ——ゑびす大黒	齋		X・2-(946)
福 神 虎 の 遊 ひ (細1枚) ——大黒と虎を索く女	齋		〃 2-(947)
五 両 福 神 図 ——X3-(233-2)に同じ、五両判と ゑびす大黒	⑩ 江崎屋		〃 2-(948)
二 福 神 図 ——ゑびす大黒	兌 辻文 板		〃 2-(949)
た から 福 ひ き (しかけ絵、横1枚) ——大黒の両手の部分に穴をあけて 宝引の札5枚を付す	小芳盛 四		〃 2-(951)
福 遊 十 六 む さ し (包紙) ——大黒	若狭屋与市 板		〃 2-(952)
十一月十一日 火性の人 有卦に入る ——大黒、ゑびすに福祿寿と福助、 お福	幾 英 印刷兼発行者 勝木 吉勝	明治33年10 月10日印刷 同15日発行	〃 2-(953)
福 神 宝 の 蔵 入 ——ゑびす大黒と寿老人及び小児	画工 橋本 直義 出板人小森作太郎	明治14年 8月10日届	〃 2-(954)
黄 金 花 宝 之 蔵 入 ——ゑびす大黒	梅 盛 印刷兼発行者 松本 平吉	明治22年12 月印刷出版	〃 2-(955)
風 流 福 神 川 渡 シ (細1枚) ——布袋が娘を背負って川渡	須藤 板		〃 2-(956)
三 福 神 ——ゑびす大黒と弁天	久 信 齋		〃 2-(957)
福 助 図 ——千両箱を積上げた上に福助	福寿堂主人 色長		〃 2-(958)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
三福神金のなる木 ——あびす大黒と弁天、紙やや小ぶりで、反古を貼り重ねた箱のような紙に貼りあり、何かの箱の化粧絵か	芳 景		X- 2-(959)
宝 船 図 (横1枚) ——七福神の宝船に永き夜回文歌			〃 2-(960)
七 福 神 図 (小1枚) ——銭形に天下泰平とあるを囲みもつ	守 義 善		〃 2-(962)
大 黒 図 (小1枚) ——吾唯知足と記せる銭形を大黒と小児4人でもつ	守 義 雀棲堂		〃 2-(963)
二 福 神 図 (墨摺) ——あびす大黒	英蝶楼国福 馬喰木屋 板		〃 2-(964)
二 福 神 万 歳 図 (墨摺) ——あびす大黒万才踊	英蝶楼国福 馬喰三木屋 板		〃 2-(965)
大 黒 図 (墨摺、小1枚) ——「便是天然富貴相」	溪 斎 (英泉)		〃 2-(966)
七 福 神 遊 楽 図 (墨摺、横1枚)	連山 写		〃 2-(967)
黒 さま の 打 金 (墨摺、横大1枚) ——遊女と大黒、大黒は小槌から小判を出し男これを手に受ける	奥 村		〃 2-(968)
大 所 得 祝 賀 (横1枚) ——あびす大黒と弁天、福祿寿	印刷兼発行者 小森宗次郎	明治26年10 月印刷発行	〃 2-(969)
二 福 神 帳 合 図 (墨摺、横1枚) ——丸コマ絵に帝国日本銀行、あびす大黒、帳合	延 一 臨写印刷兼発行者 小森宗次郎	明治30年11 月印刷発行	〃 2-(970)
福 神 図 福 祿 寿 (横長1枚) ——福祿寿が頭に筆を結んで揮毫の体、お福笑ってこれを見る	延 一 印刷兼発行者 小森宗次郎	明治30年11 月印刷発行	〃 2-(971)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
福 神 図 大黒天 ——発行年は違うが、X2-(971)に 続くもの X2-(972)は大黒とお福 X2-(973)は大黒と小児	延 一 印刷兼発行人 小森宗次郎	明治40年11 月印刷発行	X・ 2-(972) ” 2-(973)
福 助 図 ——福助の乗る宝船の船首を長髪の 婦人の後姿に見立てこれを福助 の母としている	小信 畫 岡田郵泉堂蔵版		” 2-(977)
福 神 宝 船 図 (横1枚) ——宝船上に大黒と弁天	岡田郵泉堂版		” 2-(978)
宝 船 図 (細判1枚) ——掛軸模様の中に宝船	板元 鱗形屋 ⊙		” 2-(979)
めでた 尽 し (墨摺、細1枚) ——細判に3列8段の小区画に福 神・財宝などの目出度いもの を配す	井筒屋文助 板元 井		” 2-(988)右
めでた 尽 し (墨摺、細1枚) ——X2-(988)と同種 細判に4列11段とさらに小区 分して、めでたものを描く	井筒屋文助 板元 井		” 2-(988)左
金 の なる 木 (墨摺、1枚) ——次号X2-(995)と組になる	鶴舞藩勸農方		” 2-(994)
金 の 失る 木 (墨摺、1枚) ——前号X2-(994)とセットで善悪 を示す	鶴舞藩勸農方		” 2-(995)
金 の なる 木 (墨摺、1枚) ——上部裏に“のし札”と“御歳 玉”と刷りあり、本図は年玉の 包袋の裏面と解せる	花屋熊吉		” 2-(996)
銭 達 磨 図 ——破れ壁の中に小判、銭にて目鼻 を描きしだるま			” 2-(1030)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
大黒入湯図 ——裸の大黒が洗桶を前にして坐し 弁天が背を流す	金 総 與 (総州屋与兵衛)		X・2-(1031)
万両のいきをい (黄緑単彩、横1枚) ——「金万両」と記した箱を2人で 運ぶ図			〃 2-(1033)
七福神松竹梅 (ウチワ絵) ——七福神の所持品財宝と鉢植の 松竹梅	一 齋 芳 藤 ↓		〃 2-(1043)
大 黒 図 (ウチワ絵)	鮮齋永濯		〃 2-(1059)
新板 金の成木出世雙六 (袋付、2枚継)	画工 五雲亭貞秀 板元 森屋治兵衛	[安政 6年 9月]	〃 2-(1061)
金 の なる 木 (掛物絵、豎2枚続) ——墨塘了古細島書、ゑびす大黒	芳 年 山 甚 板		〃 2-(1071)
歳 徳 福 神 図 ——ゑびす馬の絵を揮毫、大黒と お福、午歳歳旦図	英 泉 ⊕		〃 2-(1073)
金 の なる 木 (豎長1枚) ——大判以下各種貨幣を周囲に並 べる、上部に“明治21年の拾円 金貨を配す、次のX3-(2)参照			X・3-(1)
金 の なる 木 (豎長1枚) ——X3-(1)に同じ、但し植木鉢の 部分に広告の商家名あり			〃 3-(2)
かねのなる木の図 (豎長1枚) ——上部には“神君…… 武庵柏寿齋東館蔵” (朱角印)			〃 3-(3)
金の成る木の伝 (墨摺、豎長2枚続) ——上部に“神君……		(文政13寅年 冬至の日写)	〃 3-(4)
金 の 生 る 木 (墨摺、豎長1枚) ——植木鉢に「福泉」			〃 3-(5)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
金 の なる 木 (墨摺、豎長1枚) ——下部に年記と大小月および江戸 馬喰町式丁目旅人宿、和泉屋 勘四郎と摺込み広告とす		弘化 3年 丙午	X・ 3-(6)
かねのなる木の図 (墨摺、細1枚)			〃 3-(8)
かねのなる木の図 (墨摺、細1枚) ——左脇に“神君……”	雲阿縮写	天保丙申 之冬	〃 3-(9)
宝 船 図 (墨摺、横1枚) ——七福神ながきよの替歌 (欲山 人)、馬と羊を描けるにより 未年用			〃 3-(16)
宝 船 図 (墨摺、横1枚) ——船体、帆に古銭図、海上は波銭 で表現、「稻荷陀枳○尊天」の 八面鏡朱印、下に「建仁寺内興 雲菴」墨印			〃 3-(17)
大 黒 図 (横1枚) ——左半分は空白、引札見本か?	松年 筆		〃 3-(30)
大 黒 図	狩野祐勢政信		〃 3-(31)
大 黒 図 (横1枚) ——左半分空白 (広告用か?)	楓斎はるたか		〃 3-(32)
宝 船 図 (横1枚) ——左半分空白 (広告用?)	はるたか		〃 3-(33)
宝 船 図 (横1枚) ——鶴亀と財宝			〃 3-(38)
宝 船 図 (横1枚) ——X3-(38) に同じ			〃 3-(39)
岡田 郵 泉 堂 歳 旦 図 (横1枚) ——七福神宝船、岡田 (古今銀、 貨幣両替所)	小 信 岡田郵泉堂蔵版	昭和 7年	〃 3-(70)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
宝 船 図 (墨摺、横1枚)	白 鳳 鈴木鼓堂蔵 版		X・3-(71)
天保八丁酉年略暦 (墨摺) ——金のなる木			〃 3-(72)
大 黒 図 (細1枚)			〃 3-(76)
大 黒 図 (長1枚) ——からくり箱より鼠が銭などを 運ぶ、長版に図は小さく、余白 多し、折目のあとなどから上 包紙か?			〃 3-(77)
福 神 図 (横1枚) ——大黒とお福、大黒の袋へ小判を 咬えた白鼠が次々に入る	惺々暁斎 滑稽堂		〃 3-(79)
総 り と 大 黒 (小1枚) ——大黒と箕に小判、裏に「印四十 六」と印字	芳 六		〃 3-(81)
大 黒 図 (小1枚)			〃 3-(85)
大 黒 図 (色紙1枚) ——牛にのる大黒	北 一		〃 3-(90)
初 夢 図 (小1枚) ——千両箱の山を枕に毘沙門	菱川宗理 画		〃 3-(93)
宝 船 図 (小1枚)	小 信		〃 3-(94) 上
銭 宝 船 (小1枚) ——船首、帆などを銭で作る	日木溪蔵版 (龍堂)		〃 3-(94) 下
二 福 神 図 (ウチワ絵) ——変・褪色にて全体像不詳、あび す大黒像と拾両判のみ残る	著画印刷兼発行人 林 甚兵衛	明治31年 2 月15日印刷 全20日発行	〃 3-(107)
宝 船 図 (小1枚) ——五福神とながきよ回文、 右側に銀壺の紙札	八十翁是真		〃 3-(115)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
福 神 大 所 得 之 図 (石版、横1枚) ——糸びす大黒	画作印刷発行人 福田 福太郎	明治25年 11月16日 印刷出版	X・3-(155)
福 神 帳 合 之 図 (石版、横1枚) ——糸びす大黒	画工兼出版人 熊沢 喜太郎	明治20年 12月2日 出版・届	〃 3-(156)
二 福 神 図 (石版、横1枚) ——糸びす大黒、周囲に硬貨紙幣			〃 3-(157)
福 神 図 (横1枚) ——大黒のひろげる袋へ小判を咬え た鼠が次々と走り込む、傍に お福	如空暁斎		〃 3-(166)
宝 船 図 (横1枚) ——米俵と紅サングを積む 帆には 	清 房 菱屋嘉助 版		〃 3-(168)
宝 船 図 (横1枚) ——帆は大判、積荷はなく蛇 (巳) 1疋	粕井蔵 版		〃 3-(169)
福 神 宝 の 帳 合 ——糸びす大黒、金庫、硬貨紙幣	吉尾印刷		〃 3-(170)
福 神 宝 金 の 駒 勇 ——馬に乗る糸びす大黒	吉尾印刷		〃 3-(171)
福 神 賑 (細1枚) ——大黒と小児2人	中吉印刷		〃 3-(172)
大 黒 図 (色印刷) ——小槌から百万、五百万紙幣と 硬貨、小判のなる木			〃 3-(179)
金 の 成 る 木 (仮1軸)			〃 3-(228)
金 の 成 る 木 の 傳 (1軸) ——記事 (神君……) 文政十三年 冬至の日写			〃 3-(230-1)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
金の成木傳 (木箱入、1軸)	文晁 筆 卷大任書 (菱湖)		X・3-(230-2)
金の成る木の傳 (1軸) ――X3-(230-1)に同じ			〃 3-(230-3)
金のなる木 (掛物絵、豎2枚続仮1軸) ――上……金のなる木、下……ゑび す大黒、七福神即生、開運出世	一猛齋芳虎 山甚 板		〃 3-(230-4)
かねのなる木の図 (1軸) ――記事 (神君……)			〃 3-(230-5)
金のなる木 (掛物絵、豎2枚続仮1軸) ――X3-(230-4)と同種 (同一紙筒 入り)	一猛齋芳虎 山甚 板		〃 3-(230-6)
開運大黒天 金生木 (木版墨摺1軸)	(大黒天) 文 晁 (金生木) 九々翁 種丈		〃 3-(230-7)
開運金のなる木 (掛物絵1軸) ――ゑびす大黒	猛齋芳虎 笨 泉 市	[文久 2年]	〃 3-(230-8)
開運金のなる木 (掛物絵1軸) ――X3-(230-8)に同じ	猛齋芳虎 笨 泉 市	[文久 2年]	〃 3-(230-9)
金のなる木 (掛物絵、仮1軸) ――墨塘了古細島書、X2-(1071) に同じ	芳 年 山甚 板		〃 3-(230-10)
修身木図 (1軸) ――金のなる木とゑびす大黒、上部 に教訓辞			〃 3-(232)
黄金福神守 (仮軸装、1枚) ――拾両大判を背景にゑびす大黒	国 輝 笨 両国大平 板		〃 3-(233-1)
二福神五両判図 (仮軸装、1枚) ――五両判とゑびす大黒 X2-(948)に同じ	㊦ 江崎屋		〃 3-(233-2)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
家内繁昌の妙薬法 (活字印刷横1枚) ——教学論集第拾五編附録 金のなる木入り	発行所 無外書房	明治18年 3 月 5日発行	X・ 4-(6)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・影 師	年 代	番 号
8. 広 告 類			
安 売 り 引 札 (小横1枚) —— 糸びす大黒が口上の巻物をもつ 但し、廉価とのみで屋号、品名 はなし			X・ 2-(942)
正むだ附 かけねなし 御異見大安賣 —— (墨刷、横1枚)、戯文、 江戸大通りいき杉屋本店の安売 広告に擬したもの	吉田屋小吉 板		X・ 3-(25)
三 井 呉 服 店 引 札 —— 上中下三段 (中、下は店内図)		明治29年 9月	〃 3-(34)
置賜県大町 越前屋忠兵衛引札 (横1枚) —— 小間物、書物類、店頭図入			〃 3-(40)
信 州 東 山 堂 引 札 (横1枚) —— 信州上田東山堂 (薬種)			〃 3-(41)
上 州 川 原 温 泉 樋 田 又 平 引 札 —— (墨刷、横1枚)、 山木屋又平 (湯治入宿) 右上に“進上”の熨斗付			〃 3-(44)
現金引手なし 遊女大安売 (横1枚) —— 右半分は“新吉原ねさげけん” として女郎、客人、茶屋の狐拳 左半分は安売口上書			〃 3-(45)
正札附 やりてなし 留女大安売 —— (墨刷、横1枚) 品川新宿中村町板橋際、相模屋 助兵衛——の名義で引札をまね た戯文			〃 3-(46)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
現金 引手なし 遊女大安売 —— (墨刷、横1枚) 新吉原京町二丁目入口角 大和屋右之助“嘉永四辛亥”と “六”月は墨書書入		嘉永 4年 6月	X- 3-(47)
八幡宿 じやの眼引札 (3色、小横1枚) —— 八幡宿下北側中屋うら (すし屋、鍋もの)			〃 3-(48) 上
八王子 山登屋音右衛門引札 —— (墨刷、小横1枚)、八王子札 辻横丁 (酒、醤油、味噌)			〃 3-(48) 下
新吉原 若狭屋豊次郎引札 —— (墨刷、横1枚)、角町右より 二軒目、見出“現金直ニ御補養” 揚代は御昼の場所には不変、酒 肴代などを値下、年記は墨書		嘉永 4年	〃 3-(49)
大阪 寿栄堂引札 —— 大黒ほか	出版人 神田政七 出板人 寿栄堂	明治12年 12月15日届	〃 3-(73)
大坂 森文蔵引札 —— 大黒			〃 3-(74)
麴町 助惣引札 —— 菱川 ^師 宣画の三代目助惣繁昌図 を「峯山模」にて再現、助惣は 菓子舗12代目 右余白を綴込			〃 3-(84)
阿波 商業銀行引札 (横1枚) —— 七福神のうち大黒、福祿、寿 老人は行員、他は客人	楓 斎		〃 3-(143)
阿波 山下定吉店引札 (横1枚) —— 大黒と金のなる木の刷物に店名 を後刷 (足袋仕立物商)			〃 3-(144)
阿波 山下定吉店引札 (横1枚) —— 娘かるた会とまゆ玉の図に店名 を後刷 (足袋、仕立物商)			〃 3-(145)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
京都 灰与店引札 (横1枚) ——七福神宝船 (帆は万円札)	貞信 筆 著画印刷兼発行人 藤井 為倫	明治11年 9 月20日印刷 同29日出版	X・ 3-(146)
徳原常吉店引札 (横1枚) ——福助、菓子おろし	印刷発行者 杉山勇吉支店 寺西三星堂	明治27年 8 月 1日印刷 同20日発行	〃 3-(148)
越前三国 梅谷新蔵店引札 (横1枚) ——梅花醤油、魁味噌、塩、糍商 福助とまゆ玉			〃 3-(149)
徳島撫養 内島万八店引札 (横1枚) ——足袋卸、洋装の七福神と人力 車夫の福助	広 光		〃 3-(150)
山田薬房広告略曆 (色印刷、細1枚) ——東京銀座壱丁目、大阪南久宝 寺町堺筋東山田安民 中央に金のなる木		明治40年	X・ 4-(3)
小山 長尾美生堂売出広告 (活版1枚) ——小山本通り四丁目寿演芸場前 (婦人小間物、化粧品店) 中央に金のなる木			〃 4-(5)
(注) 引札は 131頁、 134頁、 135頁 も参照。			

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
<p>9. 番 付</p> <p>安政二年十月二日 地震出火後日角力 ——上段は角力番附にて大まうけの方と大おあいだの方 下段は打身骨継療治所</p> <p>東京 持○腕前競 (3枚続) ——東西に番附、中央土俵上で三井と三谷とが腕相撲、行司は大黒他の6福神は左上に</p> <p>繁閑番附厄拂 ——上は“いそがしいねへ”と“ひまだねへ”の職人番附、下は山伏がおひねりをもらう図に厄拂のもじり、ここに“野咲急作”の署名あり</p> <p>大新板弘化三丙午歳正月 大日本持○長者鑑 (墨刷、横1枚) ——題字下に歌 (藍迺舎雅信)</p> <p>新板大江戸持○長者鑑 (横1枚) ——袋紙の表紙とも (薄藍刷)</p> <p>大日本持○長者鏡 (墨刷、横1枚) ——右側は「三都方」左は「諸国方」、旧蔵者三州江尻鍛冶町の生石園 萬弥金沢氏の蔵記、朱印あり</p> <p>大日本持丸長者鑑 (墨刷、横大1枚) ——東西番附、下段に国立銀行 (資本金と本店所在町名)</p> <p>大新大江戸持○長者鑑 (墨刷、横1枚)</p>	<p>孟 齋 (芳虎) 松 栄</p> <p>東都正源堂</p> <p>たうせいたうはん</p> <p>編輯兼出板人 田中安治郎</p> <p>東都釜金 板</p>	<p>(安政 2年)</p> <p>(弘化 3年)</p> <p>弘化三丙午 相改</p> <p>明治12年 3 月出板御届</p> <p>嘉永元申歳 改正</p>	<p>X・ 2-(575)</p> <p>〃 2-(1003)</p> <p>〃 2-(1038)</p> <p>〃 5-(2)</p> <p>X・ 5-(3)</p> <p>〃 5-(4)</p> <p>〃 5-(5)</p> <p>〃 5-(6)</p>

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
大阪 持丸長者鑑 (横4枚) ——冊子未整本、表紙とも4丁 X5-(7)左と同一台紙に貼付しあり、取扱注意	東都松月堂蔵	嘉永七甲寅 孟秋	X・5-(7)右
大江戸上納金 持丸長者鑑 (横4枚) ——冊子未整本、表紙共4丁分 X5-(7)右と同一	東都松月堂蔵	嘉永七甲寅 孟秋	〃 5-(7)左
類焼施行 末代奇特鑑 (墨刷、横大1枚) ——番附仕立、文久 2年11月21日 大阪出火の節御救場へ寄附の 目録		元治元歳 六月改正	〃 5-(8)
鳥取県管内 耕宅地々価持高一万円以上一覽表 —— (墨刷、横大1枚) 番附、持地地価金高、居所	編輯兼出版人 澤田新次郎	明治14年 12月 7日届 同20日出版	〃 5-(9)
文政八大新板 浪華持丸長者控 —— (墨刷、横1枚) 題字の上・下にゑびす大黒 X5-(12) に同じ	塩屋三郎兵衛 板	(文政 8年)	〃 5-(10)
長 者 鑑 (横大1枚の1部) ——上部枠外に「大阪並ニ諸国」と あり、右に行司名あつて枠なし 横大判の右半を切り落した端 もの	書林 京都 叶屋喜太郎		〃 5-(11)
文政八大新板 浪華持丸長者控 —— (横1枚)、X5-(10) に同じ	塩屋三郎兵衛 板	(文政 8年)	〃 5-(12)
大新板文政十二丑四月改 浪花持丸長者鑑		(文政12年)	〃 5-(13)
諸国家業じまん (墨刷、1枚) ——三箇津と諸国とに分けた番附	釜屋金之助 元 上総屋久蔵 版	天保改正	〃 5-(16)
帝国金満家一覽鑑 映画男女優人気給料合併大番附	印刷兼発行者 松本 幸吉 発行所松本幸盛堂	昭和 5年 6 月10日印刷 同15日発行	〃 5-(17)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
大日本全国持丸長者改正一覽 (銅版) 大日本国立銀行一覽 ——下 1/3に銀行一覽、定価六錢	編輯兼 井上茂兵衛 板	明治13年届	X· 5-(18)
赤穂誠忠義士烈女姓氏 (墨刷、1枚) ——番附仕立	案元 誠忠堂 版		〃 5-(20)
伊豫国農工商財産家 繁栄見立鑑 —— (横大1枚)、番附	編輯兼出版人 河村 正晋	明治22年 1月21日 出版届	〃 5-(21)
伊豫国農商家 繁栄鑑 (墨刷、横大1枚) ——番附	編輯兼出版人 橋本 利吉	明治18年 1月30日届	〃 5-(22)
未の春四面一覽 (銅版、1枚) ——大日本書画人名鑑、帝国 (持) 長者鑑、大日本国立銀行一覽、 帝国物産見立一覽の4種の番附 を合成し、違警罪の抜粹を併載	編輯兼出版 清水嘉兵衛	明治16年 3月12日届	〃 5-(23)
大日本皇国萬宝一覽 (銅版、1枚) ——皇朝書画人名宝鑑、和漢司命 一覽、全国持丸鏡、大日本国立 銀行一覽、帝国物産見立一覽 の5種の番附を一枚に併載 定価六錢	編輯兼出版人 小林庫太郎 売捌人鈴木新太郎	明治15年 11月 6日届	〃 5-(24)
伏見区有産者番附 ——財産額は仮名符牒を用う	不倒荘		〃 5-(25)
秋田県管内地価金壹万円以上 處有者一覽表 (横1枚) ——定価壹錢五厘	編輯兼出版人 竹内 儀藏	明治16年 5 月届・出版	〃 5-(26)
新板大江戸持○長者鑑 (墨刷、横1枚) ——“弘化三丙午相改”	東都三光堂 板	(弘化 3年)	〃 5-(27)
大日本持丸長者鑑大日本国立銀行一覽表 —— (墨刷、横大1枚) 明治十二年改正	編輯出版人 加藤富三郎 前田喜兵衛	明治12年 2月 1日 内務省御届	〃 5-(28)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
東 都 長 者 鑑 (墨刷、1枚)	椿井堂蔵 梓	嘉永 7年 初秋	X・ 5-(29)
帝 国 金 満 家 一 覧 鑑 (横大1枚) ——定価金拾銭	編輯兼発行印刷人 松本 幸吉	昭和 5年 6 月 1日印刷 同 5日発行	〃 5-(30)
大 日 本 資 産 家 大 鑑 (横大1枚) ——東京時報社大正十五年新版	編輯兼発行人 岡野 保	大正15年 2 月15日印刷 同20日発行	〃 5-(32)
東 京 長 者 鏡 (明治大見立改正新版)			〃 5-(33)
大 日 本 持 長 者 一 覧 (実地改正大見立)	印刷兼発行者 長谷川常治郎		〃 5-(34)
東 京 長 者 今 様 競 丸 持 鑑	著作并出版人 宮田 宇兵衛 東花堂五翁蔵版	明治12年 5月改	〃 5-(35)
新 板 名 古 屋 持 丸 長 者 鑑 (横1枚) ——右枠外に「安政七庚申年春新 板」と墨書		(安政 7年)	〃 5-(36)
(注) 持丸絵については30頁も参照			